

5. 学校評価

(4) 2023 学校評価書

■自己評価の基準 A:おおむね達成できた B:少し達成された C:あまり達成されず D:達成には程遠い				■学校関係者評価の評価基準 A:おおむね評価できる B:少し評価できる C:あまり評価できない D:まったく評価できない		
番号	評価項目	今年度の成果と課題	自己評価	次年度への改善点	学校関係者評価	学校関係者のご意見・要望
1	カリキュラム改善	授業計画書(シラバス)作成は5年目、作品コンクールに向けた取り組みを表記し、さらに分かり易くする必要がある。 実習では、実習費を値上げしたにも関わらず、さらなる物価高騰のあおりを受けて、実習材料の変更せざる得ないこともあり、仕入先の変更等柔軟な対応が求められている。	A	2月中に、次年度のシラバスを改訂を予定している。11月作品コンクールに向けて、時間配分を明確にして、より分かり易くする。 仕入先については、これまでのこともあるが、検討していく。	A	・食材費の値上げの中で工夫されており、評価できます。 ・食材費が高騰している中でも、実習は不可欠で、先生方のシラバス作成の苦労と努力は評価できる。 ・地域等との協調ができる様、明確にしていくことも大事。
2	シラバス活用	実習準備の一部を、2-2(調理高度技術科2年)学生が当番制で行い3年目となった。学生の質の向上もあり、スムーズに行えるようになってきた。	B	左記の当番制度を1時間目のある2-1(調理高度技術科1年)への拡大も検討したが、31人の輪番の関係もあって、実現できていない。	B	・輪番制にすることにより、準備段階から実習意欲、コミュニケーション能力等も育まれ、良い制度と考える。昨年2-1で実現できていないとのこと、今年も同様だったが、対応等はないのでしょうか。 ・前年度からも取り組まれており、今後に期待したいです。 ・全員の当番制にするのは難しいのでしょうか。
3	学習支援	きめ細かい指導を行い、出席時数不足並びに成績不振の学生が大幅に減少してきた。特に、アクティブラーニングのスタイルで学んできたことを念頭に置いた座学授業の改善は、多くの先生方が年度反省会などで授業手法を共有することで、学生の授業評価が高くなっていることにも顕著に表れている。	B	学力の差は歴然とする中、個別指導での対応の在り方やパワーポイントを用いた指導、グループ討議を活用している例を、1月6日に共有できたことは、確実なる前進と捉えている。	A	・出席不足や成績不振の学生が減ったことは、先生方の熱心な指導のおかげと思います。 ・学力に差がある中で、先生方のきめ細かな個別指導等により学生評価(1)~(6)まで年々ポイントが高くなっていることは評価できる。
4	規範教育	全職員が、同じ指導(化粧・ピアス等の指導において)を、今年も貫くことが出来た。遅刻届の提出は、規範意識の改善に大いに役立ち、引き締まった学校生活の基盤をなしてきた。	B	学習支援に通じるが、授業でのプリント提出を期日までにさせることが定着するかが課題。調理高度技術科1年は、提出率が高く、これをどう展開するかが、指導の課題。	B	・調理というとりわけ清潔さを求められる仕事にあっては非常に重要なこと。良くやっていただいていると評価します。 ・調理高度技術科1年には2年になっても、更に自己を磨く心を持ち続けた山調生活を送ってほしい。先生方の御指導に期待する。 ・携帯電話の実習中の所持などの検討も必要。 ・課題をどうしていくか工夫が必要ではないだろうか。
5	就職指導	38人の卒業生は、その希望が多岐に渡るものの、売り手市場の様相から、ほとんどが内定している。調理師科の年齢の高い方、調理高度技術科の意思疎通の難しい学生を除き、内定するものとみている。	B	学生の希望と内定状況は、講師控室にも掲示して、逐一状況が見えるようにしてきた。今年同様に、担任任せではなく、多くの教員が学生の声掛けしながら、希望の引き出しに努めている。	AB	・多様な学生がいる中で、就職内定率がほぼ100%なのは立派です。 ・「とりあえず」という学生も居るだろう。学生評価(9)が低いのが気になるところだが、(3)~(6)(10)が高いので、優秀な先生方揃いの山調さんに更に奮起していただきたい。食事をしている時の人々は笑顔です。笑顔を作り出す仕事の素晴らしさを、先生方や先輩達の話を通して聞けたらと思う。 ・希望に添った就職ができる様に取り組んでいる教員の方々にはいつも感謝です。 ・個々に合った対応が必要ではないだろうか。
7	作品コンクール	JA全農山形協賛のコンクール開催をより多くの方に知ってもらう方策を考える時期を迎えた。事前の準備や当日の学生の奮闘ぶりをどう伝えるかが大きな課題である。加えて、学生同士で作品を比較検討する時間がまだ充分に取れていないことも、学生の指摘ではっきりした。	B	学生の意気込みが伝わるよう、事前準備をどう見せるかが課題。 13時までに後片付けを済ませることは同じとし、表彰式を30分後ろ倒し(審査員の皆様には恐縮ですが)にできないか検討する。	AB	・毎年工夫を積み重ねながら実施していただいております。 ・今年のコンクールでは、学生達の明るい雰囲気伝わってきた。作品の評価は時間、評価のポイントなど、やはり難しい。TV局が入ってなかったこと、山新の記事が見当たらなかったことがとても残念。素晴らしい作品ばかりなのに、学校側では是非対応を。 ・コンクールは学生たちの取り組んでいる姿にとても感動する。より多くの方に学生たちの取り組む様子を是非見てもらいたい。 ・一人ひとりが頑張れる姿がとても印象的だった。
8	山調理教室	コロナ流行後は、不特定多数を対象にした「料理教室」は実施していない。 シルバー人材センターと蔵王コミセンからの要請を受けた教室を開催した。 今年度は新たに、「地域食堂」への「そば提供(学生が打って・茹でて提供)」を行い、1月末には「日赤山形駅前献血センター」の要請を受けて、クッキー造りも担うことにしている。	C	いわゆる「ボランティア」であっても、社会の一員としての自己の存在を感じることが出来る機会を増やしていくことが肝要であるが、教職員の負担増にも繋がりがねず、	B	・教職員の時間外勤務については、求めるのであれば手当を出すなどの対応が必要と思います。 ・かつての地域住民対象の料理教室は出席者の話しでは、とても楽しく役に立ったプログラムだったということで、復活出来たらと思う。外に出向いてのボランティア、先生方の負担になるのはいかがなものか。日赤のクッキーは大変良かった。 ・山調らしい地域貢献も必要。 ・インターンシップなどの経験を沢山することで、自分磨きもできるのではないだろうか。

10	学校パンフレット	昨年同様800部作成し、県内資料請求者(学校訪問の中学生にも配布したが)を中心に送付し、1月10日時点で、20部(去年は70部)だけとなった。県外請求者には、葉書だけの回答を今年も実施した。	A	「卒業し、どんな仕事に就いているのか」が見えるよう、卒業生に協力を求め、職場の様子を紹介してもらうコーナーを現行4社から8社に増やして新しい感を打ち出す。	A	・次年度のパンフレットに期待。 ・楽しく働いている様子は大変魅力的なので、学校の紹介とともにOB・OGの紹介ページを増やすと良いと考える。 ・改善点の様に、興味のあるパンフレット作成が大事と思います。
11	高校訪問	進路指導室への訪問を複数回実施したが、いずれの高校も調理師希望者が本当に少ない状況だった。入学者数が10名減(前年比一昨年比20名減)は、アピール不足で県外に流出しているのか、飲食・宿泊業の構造的な問題なのかは不明。	A	LINE質問会など、これまで取り組む時間的余裕がなかった分野へも手がけることにする。	A	・いわゆる「手に職を」考える生徒(保護者)が減っているという構造的な問題と思われる。今後は、社会人の転職希望者をいかに取り込んでいくかが大切なような気がする。 ・ウェブプロコミに1件あったが、対応が好印象ではなかったというのがあった。対応は大事かと思う。日赤の応援クッキーは短期間でも高校生が多く通る駅の通路等に掲示してもらうとかできたら良かったと思うし、毎年実施するとかはどうでしょうか。広報の一手段としても。 ・製菓を希望している学生も多いのではないのでしょうか。
12	学生サポーター	オープンキャンパスでの学生サポーター4名体制は、今年も参加者には好評だった。学生には、積極的に会話をさせて、高校生の手助けをするように	A	オープンキャンパスのアンケート結果からは、「他校との比較の結果、入学しない」割合が2022参加者より多かった。他校比較で劣っている部分を洗い出せるようアンケートの内容を精査して、対応したい。	A	・学生サポーターの存在は好評で評価できる。学生の授業評価アンケート(8)が昨年と比べポイントが下がり、(1)~(10)の中で1番低いのが気掛かりで、OCに参加した高校生に影響していることはあるのか。原因を究明し、対応を望む。 ・手伝いの学生にとってもいい経験となり、コミュニケーションの取り方も学べたのではないだろうか。
13	ブログ	「山調BLOG」は、3月末以降12月29日~1月3日を除いて、毎日更新したが、閲覧数は前年を下回った。マンネリ打破を目指すも、日々悩ましいのは昨年と同じ。インスタは実習ごとに上げてきた。ユーチューブは限定閲覧で、学内のみ。	B	材料探しが、大きな課題。 ユーチューブの限定閲覧を辞め、誰でもが見れるようにしていく。	B	・アカウントにこだわらず先生の目線で引き続きどうぞ。現役の先生、学生さんが登場しての授業内容のみならず、数年前に逆上って見れるのも魅力的です。もちろん風景、花、食べ物屋さんも。